

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270201296		
法人名	社会福祉法人緑風会		
事業所名	太陽の里		
所在地 (電話番号)	〒036-8112 青森県弘前市堀越字柳田3-12 (電話) 0172-29-3777		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 9月 17日	評価確定日	平成 19年 11月 21日

【情報提供票より】(平成 19年 6月 30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 2月 14日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 9人, 非常勤	人, 常勤換算 7.15 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	7,500 円	その他の経費(月額)	6,000 ~ 冬季7,500 円	
敷金	有() 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(6月 30日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.6 歳	最低	68 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤取上内科・小児科医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホーム内の食堂は外の光が入りとても明るく、窓からは田畑が眺められとても美しい景色がみられている。ホーム内はとても清潔にされており、嫌な臭い等もなく過ごしやすい感じである。同じ敷地内には介護事業所も併設されており、デイサービスやグループホーム以外の職員との交流も自然な感じで行われていた。また市街地も近くにあり買い物やドライブには便利な立地条件にある。管理者が中心となって、職員のチームワークも良く常に入居者、家族の意見を取り入れサービスの向上に努めているホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>市町村と共同した取組みの実施について検討課題があったが、近隣の方との交流もみられ、町内会の行事に参加されたり、ホームの行事に参加してもらったりされている。今後、認知症についての勉強会も開催予定であり、改善に向けた取組みがされている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価を管理者中心に全職員で行い、評価結果を受け入れ見直しとサービスの質の向上に向け取り組まれている。結果をもとに改善されている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は定期的開催されており、サービスの向上に活かす努力がされている。会議には、家族・市の担当者・民生委員・町会長・消防団長・警察の方々が参加されている。また今年中に認知症についての勉強会も開催する予定であるので、今後も続けて行きより良いサービスの向上に向けての会議に期待される。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会時に日頃の様子を伝えたり、毎月の便り、来れない家族には電話での報告がなされている。また運営推進会議で家族へ意見を聞く場ももうけている。また職員は何でも言ってもらえる雰囲気づくりにも努めている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣の方との交流は図られている。こちらから町内会の行事に参加したり、近隣の方々がホームに立ち寄りたりしている。今後も運営推進会議などを通して益々交流の場を増やして行く事を期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員でBS法をもとに理念をつくられている。また地域との関係を大切にされた理念である。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は日々振り返りできるように理念をネームプレートの裏に携帯している。また会議の際には理念を確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の方とは、散歩や町内会の催しへの参加を通し交流が図られている。また事業所の行事にも来てもらっている。今後、居宅介護支援事業所と合同で認知症の勉強会も開催予定であり、認知症の普及活動にも意欲的である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員で話し合い自己評価されている。サービスの振り返りの機会となっており、職員の意識改革につながっている。また外部評価の結果をもとに改善も図られている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的開催され、家族全員に参加を促し、また市の担当者や民生委員、町会長、消防団長や警察署の方にも参加を呼びかけており地域との連携が深められている。外部評価についても報告し意見を頂いている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>所長やケアマネージャーは市の担当者へ分からないことがあれば出むいたり、電話にて相談したり、相談されたりと交流が図られている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者、職員は権利擁護、成年後見人についても書かれた高齢者虐待防止読本を一人ひとりが持っており、全職員で学んでいる。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>上記の本をもとに虐待について学んでおり、ケアマネージャーも日頃から職員の言葉使いなどにも気をつけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	現在は入居時に重要事項など説明し契約されているが、法人の方針としてこれからは入居前、入居時と説明するようにし十分に納得できるような体制がとられている。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会に来られたときは職員が日頃の様子を伝えたり、毎月グループホーム便りを発行し御家族へ渡している。面会に来れない御家族にはグループホーム便りと入居者の様子を手紙で伝えている。また通帳の写しと1ヶ月に使った金銭の出納と領収書もお知らせしている。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加された御家族へ意見を聞く場を設けている。参加出来ない家族には、面会時または電話連絡を通して意見を聞く場を設けている。家族から寄せられた意見は、管理者を中心として職員全員で会議等で話し合い運営に反映されている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は少なく、また職員が辞めたときは同法人から職員が異動しており、その都度指導し入居者へのダメージを防いでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人では自己申告書を全職員に作成してもらい、そこに書かれている希望の研修や資格取得に対し積極的に参加させている。また参加した研修は園内研修で発表し参加できない職員には閲覧している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修で他グループホームの方と情報交換や現状の問題について話しており交流が図られている。また同法人のグループホームとも交流は図られており一緒に行事を開催している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者が安心してサービスを利用できるように問題となっていることを御家族と話し合い解決したり、またその入居者が他入居者と交流がスムーズに行えるよう職員がこまめに関わり交流が図れるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者から郷土料理の作り方を職員が教わったり、また農家だった入居者の方から畑のやりかたを聞くなど共に支えあう関係を築いている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしや行事などを通して軽度、重度にかかわらず入居者に対し今後の生活に対する意向や思いを少ない言葉から汲み取る努力をされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、御家族には面会時などに計画についての意見を頂いて計画に反映している。また計画作成後、所長や職員がみんなで話し合いされ計画を作成されている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月計画に対し実施されていたか、またそれについての評価が行われている。終了時やサービスについて変更が生じたときは全職員で話し合い見直しされている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助をしたり、要望など聞きながら外出支援もしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からのかかりつけ医を継続されたり、また受診先が変更になるときは御家族や入居者にも説明し納得されてから新しい受診先へ御家族、入居者、ケアマネジャーと一緒に受診している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居後身体機能の状況に応じて御家族と今後について話し合いされており、かかりつけ医にも相談されている。決まった方針については全職員で把握している。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>重要事項説明書で家族にも話がされ、また職員では就業規則に記載がありプライバシー保護に努めている。記録物は鍵のかかる場所で保管されている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者のペースが個々に違うため、一人ひとりのペースを尊重し、午前に入眠されていたり裁縫されていたりその日を心地よく過ごせるように支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	丸テーブルを囲み全入居者と職員が顔を見ながら楽しく食事をしている。また入居者の力量に応じて準備や後片付けを行ってもらい役割ができています。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回入浴日だが、その日に入浴を希望しない時は無理せず翌日にしたり季節に応じて回数を増やすなど支援されている。また状況に応じてシャワー浴や手足浴も行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	御家族からの情報をもとに趣味の編み物を提供したり、生活暦から農作業をするなど本人が意欲をもてるよう支援されている。また初めて農作業をした人が楽しみながら行っているのを見て更に生活に楽しみがもてるようになっている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者から外出の希望あればドライブや買い物など連れて行っている。2ヶ月に1回は入居者に食べたい物の希望を聞き普段行けないところへ出かけ外食されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>冊子をもとに全職員で身体拘束について勉強をしており、身体拘束をしないように日常生活でも気をつけている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は鍵をかけておらず、帰宅願望のある方にはグループホームで不快な思いはされていないか把握し不安を取り除くよう職員でケアを統一し関わっている。外に出ようとする時は、一緒に職員が付き添い気分転換を図りながら事故防止に努めている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>毎月避難訓練を行い、また緊急連絡網の確認もしている。また毎朝消火器の操作、火災報知機も使用し日頃よりすぐ対応できるようにしている。また最近消防団の方に協力依頼しており、実際に避難訓練を見てもらい指導を受けている。</p>		<p>消防団に協力依頼し指導は受けているが、実際に協力員との避難訓練は行われていない。今後協力員と共に避難訓練をされることを期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は法人の栄養士が作成し、栄養バランスがとれている。また摂取量、水分量も記載されている。一人ひとりの状況に応じて刻みやとろみを使用している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症に対するマニュアルがあり全職員で把握している。また看護師より季節によって流行が予想される疾患について指導がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内は外の光も入りとても明るい雰囲気である。また廊下やホールには利用者、職員で作った物や、季節にあった物も飾られている。ホーム内は音も静かで、ホールにはソファがあり入居者がゆっくりくつろげる空間もある。みんなが自由にくつろいでいた。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>今まで使い慣れたタンスや思いのあるぬいぐるみなど自宅から持ってきており、本人が安心して過ごせるように配慮されている。</p>		

 は、重点項目。